

レッスン18

<https://1drv.ms/p/s!Aouy8oyeIrHHqhUaBqu0a6tzofmN?e=wj8QBz>

↑パワーポイントによるレッスンプランです。

A. お祈りの暗唱と暗記

オープニングのお祈りの後、レッスン17で学び始めたお祈りを暗唱する練習をします。

B. 歌(前に習った歌の復習を含む)

Be Hopeful

C F
The future we can never know
G C
What will happen the next day

C F
Yet bounties never cease to flow
G C
Trust in God and make your way

CHORUS:

F G
Be hopeful, be hopeful,

C F
And find God's bounties everywhere
F
The sun will rise
G
And fill the skies
C F
Look up with expectant eyes
F G C
Look to Him with hopeful eyes

Be ever hopeful, strive to grow
And winter will give way to spring
His bounties never cease to flow
They're bringing life to everything

CHORUS

Be a source of joy and peace
Serve and let the spirit glow
Remember bounties never cease
Be hopeful for tomorrow

CHORUS

C. 引用文の暗記

以下は、あなたが、このクラスで子どもたちに暗記するよう求める引用文を紹介するときに役立つ幾つかのアイデアです。

神様の愛はいつも私たちと共にあります。神様は私たちを一人にしないで、人生を通してずっと助けると約束してくださいました。私たちは、毎日、何が起きるか分からないけれど、いつも神様からの贈り物と恵みがあることを思い出して、神様を信じます。そして未来を考えると、神様からの限らない祝福の分け前をもらえることを信じて、希望をもちます。希望に満ちた心をもって、神様の恵みが注がれることを常に期待します。希望をもつことの大切さを思い出すのを助けるために次のアブドル・バハの言葉を暗記しましょう。

^{なんじ} 汝、神への信頼を決して失うことなきように。常に希望を持て。^{なん} 何となれば、神の恩寵は決して途絶えることなく人間の上に注がれているからである。 120

<信頼>

1. エドワードは問題を抱えていて、ホン・ウェイさんに助けを求めました。エドワードはホン・ウェイさんが自分を助けるために力を尽くしてくれると知っていました。エドワードはホン・ウェイさんを信頼しています。
2. ニルマーラさんは家の屋根を修理したいのですが、一人ではできません。何人かの友達が彼女を助けるために明日来るよと約束してくれました。彼女は彼らが約束どおり来てくれると信頼し、準備を整えて待ちました。

<希望を持つ>

1. アイオセフィーナちゃんは日当たりの良いところに種を植え、毎日水をやりました。彼女はその種が育つのを心待ちしていました。彼女は、その種がいつか立派な木になることに希望をもっています。
2. アントニオ君の親友、マット君は別の町に引っ越しました。アントニオ君は友達が恋しかったのですが、すぐにまた会えるという希望をもっていました。

<恩寵>

1. リリアンちゃんは、毎晩お祈りするとき、自分が幸運にも持っているたくさんのものについて考えます。両親のことや、友だち、先生のこと、ゆっくり休める家があることなど、自分が持っている幸せについて考え、自分がいただいているたくさんの恩寵に感謝します。

2. レザ君には、彼を愛し、成長を助けてくれるたくさんの友だちや親戚があります。レザ君は、彼らの愛や援助の恩寵に感謝します。

<絶える>

1. ターヒェ君が水道の蛇口を閉めると水は止まります。水の流れが絶えるのです。
2. 曇りの日でも、太陽の光線は地上を温めます。太陽の光線は決して絶えることはありません。

D. お話

ロンドンのテムズ川の土手にホームレスの男が独りぼっちで住んでいました。彼はとても悲しくて、人生の幸せへの希望を全くなくしていました。ある日、彼はある店の前を歩いていて、新聞の写真が目にとまりました。それはアブドル・バハのお顔でした。その男はその顔をじっと見つめて、凍りついたように立ち尽くしました。彼はこれまで一度もアブドル・バハを見たことはなく、それが誰かも知らなかったのですが、どうしてもその人に会わなくては、と思いました。新聞に家の住所が載っていたので、男はその人を見つけようと思って歩き始めました。その家はとても遠く、50キロ近くもありましたが、男は歩き続けました。

やっとたどり着いたときは、疲れ果てて、お腹が空いていました。その家の女主人は男を優しく招き入れて、食事を与え、しばらく休ませてくれました。休んでいる間、女主人にこれまでのいきさつを話し、アブドル・バハはここにいらっしゃるかとたずねました。女主人は、いらっしゃると答えました。

すると男は、「私のような者にでも会ってくださるでしょうか?」と、尋ねました。

もちろん、アブドル・バハは会ってくださるでしょう、と彼女が返事をしたちょうどそのとき、アブドル・バハが入ってこられました。男が立ちあがると、アブドル・バハは彼に腕を差し伸ばしてあいさつをし、その様子は、まるでずっと会うことを待ち望んでいた古い友を迎えるかのようでした。アブドル・バハはその男を、愛と思いやりを持って歓迎し、自分のそばに座るよう勧められました。

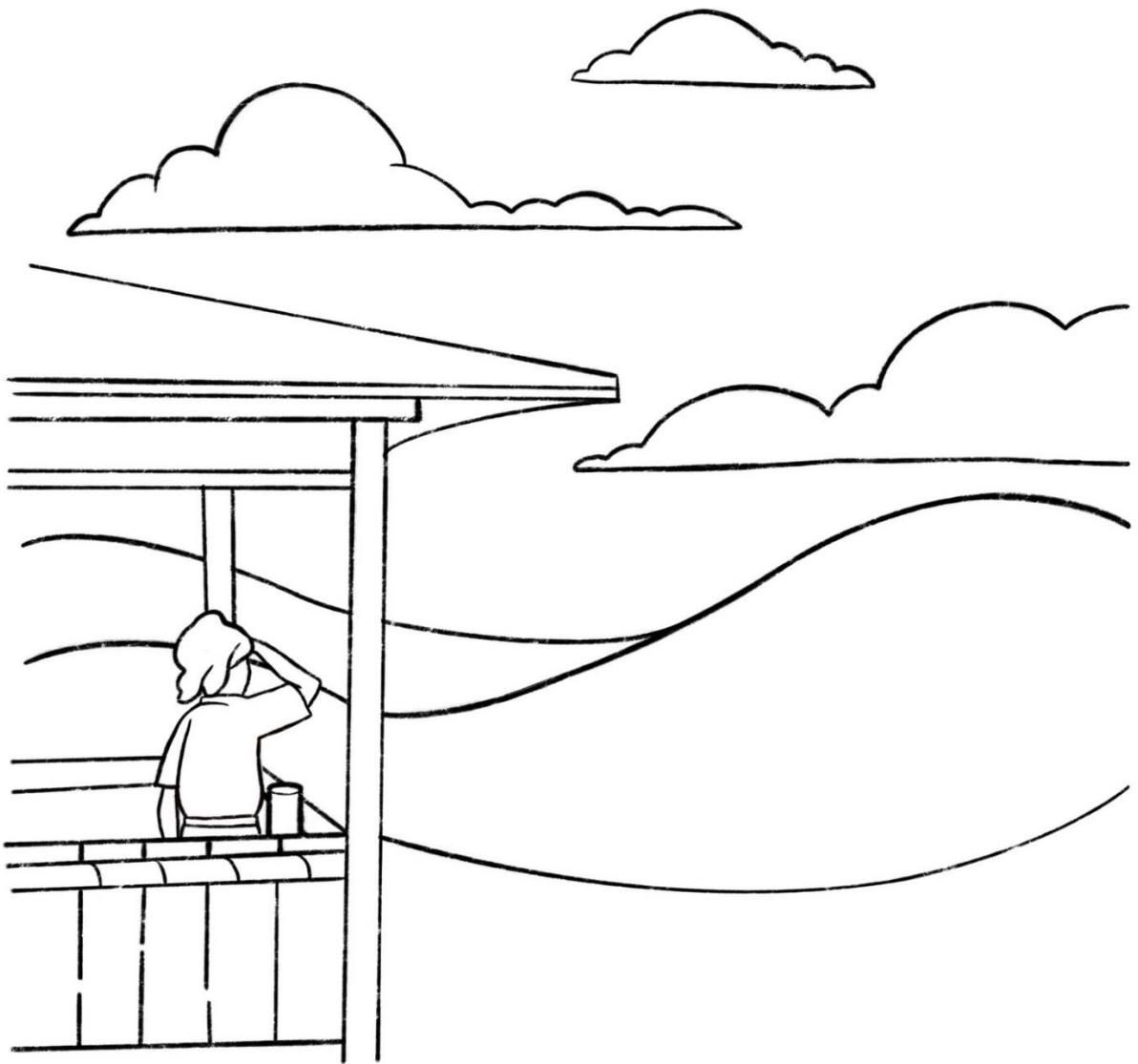
アブドル・バハは、いつも、どうすれば人々の心に失われた喜びを取り戻すことができるかをご存知でした。そこで、その男に話し始められました。神の王国で男は豊かであるということの思い起こさせ、悲しみを追い払うよう励まされました。アブドル・バハが男に同情を示されると、その心地よい言葉は男の心を癒やし、力づけました。男の悲しみは少しずつ流れ去り、帰り際には、アブドル・バハに、もう貧しさで悲しまされないようにする、代わりに畑で仕事を見つけ、お金を貯めて少しばかりの土地を買い、すみれの花を育てて市場で売ることにすると告げました。男は、神を信頼し、自分の努力が神に認められ、祝福されると信じることをアブドル・バハから学びました。彼の落胆は希望に変わりました。

E. ゲーム: 雨を降らせる人

子どもたちは先生の周りに輪になって立ちます。子どもたちに、長いこと雨の降らない砂漠にいて、雨乞いをしていると想像するよう言いましょう。先生は手のひらをすり合わせます。そうしながら、子どもたちの一人一人を見ると、彼らも同じ動作をします。こうして、子どもたち全員は、先生が新しい動作を見せるまで手のひらをすり合わせ続けます。新しい動作は、指をならす、手を叩く、ひざを叩く、足踏みをし、だんだん音を大きくする、など。最初の音は雨の降り始めを示し、だんだん雨足が強くなって行く感じで、ついには大嵐を思わせるような音にします。

F. ぬり絵 18

G. 終わりの祈り



なんじ かみ しんらい けつ うしな つね きぼう
汝、神への信頼を決して失うことなきように。常に希望を持て。

なん おんちよう とだ そそ
何となれば、神の恩寵は決して途絶えることなく人間の上に注がれているからである。